

第16回統合認証シンポジウム・アンケート意見

統合認証のような仕組みを運営する上で、あるいは導入を検討する上での課題を教えてください。
人事・教務システムとの連携;運用のための体制;技術的な課題;認証を提供するサービスとの連携;執行部の理解;情報更新の鮮度（更新頻度，処分時，退職後の一定期間）;派遣職員や名誉教授，研究員，医局に所属する医師（学外の病院に勤務）等の扱い，処分等によるサービス・アカウントの一部停止等;;大学に関する微妙な立場の人々の扱い;
SP対応アプリ不足;
人事・教務システムとの連携;運用のための体制;技術的な課題;大学に関する微妙な立場の人々の扱い;
運用のための体制;技術的な課題;認証を提供するサービスとの連携;
SPになってくれない。運用部課やシステム業者がSAMLの理解がない。;
技術的な課題;
運用のための体制;情報更新の鮮度（更新頻度，処分時，退職後の一定期間）;派遣職員や名誉教授，研究員，医局に所属する医師（学外の病院に勤務）等の扱い，処分等によるサービス・アカウントの一部停止等;;大学に関する微妙な立場の人々の扱い;SPになってくれない。運用部課やシステム業者がSAMLの理解がない。;
技術的な課題;運用のための体制;情報更新の鮮度（更新頻度，処分時，退職後の一定期間）;
認証を提供するサービスとの連携;
全部ですが、私の属する組織ではそれなりに運用の統制が取れている感じです;
認証を提供するサービスとの連携;
人事・教務システムとの連携;
認証を提供するサービスとの連携;運用のための体制;
執行部の理解;大学に関する微妙な立場の人々の扱い;SPになってくれない。運用部課やシステム業者がSAMLの理解がない。;
運用のための体制;
運用のための体制;認証を提供するサービスとの連携;執行部の理解;
執行部の理解;
人事・教務システムとの連携;技術的な課題;
人事・教務システムとの連携;運用のための体制;執行部の理解;大学に関する微妙な立場の人々の扱い;
大学に関する微妙な立場の人々の扱い;SPになってくれない。運用部課やシステム業者がSAMLの理解がない。;運用のための体制;派遣職員や名誉教授，研究員，医局に所属する医師（学外の病院に勤務）等の扱い，処分等によるサービス・アカウントの一部停止等;;
人事・教務システムとの連携;大学に関する微妙な立場の人々の扱い;執行部の理解;派遣職員や名誉教授，研究員，医局に所属する医師（学外の病院に勤務）等の扱い，処分等によるサービス・アカウントの一部停止
技術的な課題;
運用のための体制;情報更新の鮮度（更新頻度，処分時，退職後の一定期間）;
SPになってくれない。運用部課やシステム業者がSAMLの理解がない。;人事・教務システムとの連携;
運用のための体制;
技術的な課題;認証を提供するサービスとの連携;情報更新の鮮度（更新頻度，処分時，退職後の一定期間）;派遣職員や名誉教授，研究員，医局に所属する医師（学外の病院に勤務）等の扱い，処分等によるサービス・アカウントの一部停止等;;

人事・教務システムとの連携;運用のための体制;技術的な課題;情報更新の鮮度（更新頻度，処分時，退職後の一定期間）;派遣職員や名誉教授，研究員，医局に所属する医師（学外の病院に勤務）等の扱い，処分等によるサービス・アカウントの一部停止等;;大学に関係する微妙な立場の人々の扱い;
情報更新の鮮度（更新頻度，処分時，退職後の一定期間）;派遣職員や名誉教授，研究員，医局に所属する医師（学外の病院に勤務）等の扱い，処分等によるサービス・アカウントの一部停止等;;運用のための体制;
運用のための体制;
人事・教務システムとの連携;運用のための体制;執行部の理解;情報更新の鮮度（更新頻度，処分時，退職後の一定期間）;大学に関係する微妙な立場の人々の扱い;
運用のための体制;技術的な課題;認証を提供するサービスとの連携;執行部の理解;情報更新の鮮度（更新頻度，処分時，退職後の一定期間）;派遣職員や名誉教授，研究員，医局に所属する医師（学外の病院に勤務）等の扱い，処分等によるサービス・アカウントの一部停止等;;
人事・教務システムとの連携;認証を提供するサービスとの連携;
認証を提供するサービスとの連携;大学に関係する微妙な立場の人々の扱い;
人事・教務システムとの連携;運用のための体制;大学に関係する微妙な立場の人々の扱い;
運用のための体制;技術的な課題;認証を提供するサービスとの連携;執行部の理解;大学に関係する微妙な立場の人々の扱い;人事・教務システムとの連携;
人事・教務システムとの連携;運用のための体制;派遣職員や名誉教授，研究員，医局に所属する医師（学外の病院に勤務）等の扱い，処分等によるサービス・アカウントの一部停止等;;大学に関係する微妙な立場の人々
運用のための体制;認証を提供するサービスとの連携;
運用のための体制;技術的な課題;派遣職員や名誉教授，研究員，医局に所属する医師（学外の病院に勤務）等の扱い，処分等によるサービス・アカウントの一部停止等;;大学に関係する微妙な立場の人々の扱い;
運用のための体制;認証を提供するサービスとの連携;
運用のための体制;人事・教務システムとの連携;
システム更新費用;人事・教務システムとの連携;
人事・教務システムとの連携;認証を提供するサービスとの連携;運用のための体制;技術的な課題;執行部の理解;情報更新の鮮度（更新頻度，処分時，退職後の一定期間）;派遣職員や名誉教授，研究員，医局に所属する医師（学外の病院に勤務）等の扱い，処分等によるサービス・アカウントの一部停止等;;大学に関係する微妙な立場の人々の扱い;SPになってくれない。運用部課やシステム業者がSAMLの理解がない。;
人事・教務システムとの連携;運用のための体制;技術的な課題;情報更新の鮮度（更新頻度，処分時，退職後の一定期間）;派遣職員や名誉教授，研究員，医局に所属する医師（学外の病院に勤務）等の扱い，処分等によるサービス・アカウントの一部停止等;;大学に関係する微妙な立場の人々の扱い;SPになってくれない。運用部課やシステム業者がSAMLの理解がない。;
大学に関係する微妙な立場の人々の扱い;認証を提供するサービスとの連携;
人事・教務システムとの連携;運用のための体制;技術的な課題;認証を提供するサービスとの連携;執行部の理解;大学に関係する微妙な立場の人々の扱い;SPになってくれない。運用部課やシステム業者がSAMLの理解がない。;

今回のシンポジウムについての感想、ご意見などがあればお聞かせください

お世話になりました、大変良かったです。

Zoomの操作担当者と、司会者は分けた方が安定するのではないかと思います。センター長の堀先生が凄いので何とか出来ておりましたが。

開催いただきありがとうございました！

統合認証についての将来的な方向を示していただける話題をいつも選んでいただいて、勉強になります

今回、ほとんどが聞きたい内容だったのでとても良かったです。

家庭の事情で現地に行けなくて残念でした。

来年はお伺いしたいと思います。

大変有意義なシンポジウムを開催いただきましてありがとうございます。次回も参加したいです。

九州大学伊東先生の取り組み発表は大変に興味深く、こういったここでしか聞けないような内容のセッションが増えると良いと感じました。

多要素認証導入と、SAMLクライアントのスムーズな導入が各大学様における喫緊の課題であろうと認識を致しました。引き続き対応を進めたい考えです。

各大学での取り組みが確認できて非常に有意義でした。

初めての参加でしたが内容が濃くて大変参考になるシンポジウムでした。今後も継続的に参加させて頂き、質問やディスカッションが出来るように自身の知識・経験を身に付けていきたいと思います。

LTなど新たな取り組みにより間口が広がっていて良い。

カッチー君に会いたい。

大学様向けに統合認証を連携することが増えてきてます。

大学様内での検討内容などを聞くことができ、内部でも検討されていることが理解できました。

今後の活動に役立てていきたいと思います。

初めて参加しましたが、非常に有益でした。次回も是非参加させて頂きたいと思います。

学認対応IdPホスティングサービス実証実験の成果報告や、Hybrid AzureAD JoinによるSSOなど、検討していた構成が抱えている課題などが分かり、大変参考になりました。

他大学の状況がとても参考になります

例年よりも早い段階で日程が確定していたため、参加に向けた調整がしやすかった。

学認に対するコミュニティが必要だと思いました。もっと拡げて行っていただきたいです。

↑の設問で、6,8 認証連携はしているが、Microsoft365の利用のためのみ、

7 管理運用しているシステムについては多要素認証（なので、把握していないシステムについては多要素認証出ない可能性は否定できない）

次回開催する場合、取り上げてほしい統合認証に係るテーマはありますか
WebAuthn関連
MS365, Google WSを使う大学における統合認証機構。 認証機構をMS365のADやGoogleに任せる方が良いのか、自前で構築する方が良いのか。 多要素認証などの先進機構も自前IdPが良いのか、SaaS側に任せる方が良いのか。
事務端末の認証
学内でのプロジェクト管理、研究データ管理を取り上げていただけるとありがたいです 引き続き、最新動向と事例情報があればうれしい。
統合認証の導入において大学内での事例が多かったのですが、今後は他の業界（中央官庁や地方自治体、民間企業）の事例などが増えると嬉しいです。
他国でのDID/VCに関する取り組みの成功、失敗事例など。
統合認証とAI活用について、お考えを聞いてみたいと思います。
また各大学の事例等を紹介頂ければと思います。
構成員以外（父兄や卒業生など）へのサービス提供に伴う利用者認証方式。
大学様内で検討されている統合認証に係るテーマをお願いします
FIDO2の課題
接続するSPをどのように許可するかの判断基準 例えば、予め情報関係部署が、設計前にアドバイスしたり、組織としてそのSPの構築を認めているかとか。 私の組織では、部署ごとにSPを構築しており、IdPを使いたいという申請時点でしか、そのSPの詳細がわからないため、どんどんSPが増えていて、同じような機能のSPがいくつもできているように統制がとれていません。
まだまだIDaaSに抵抗があります。ネガティブな思考を払拭できる事例が充実すると良いです。 岐阜大学様の取り組みは非常に参考になります。
統合認証は、SPの増加、多要素認証、FIDOなど、システムとしては膨らむ一方なので、システム運用・管理でどのように省力化を行っているかというテーマはお聞きしたい課題です。
このアンケート結果をどこかで報告していただきたいです。
↑の設問5などにも関係していますが、人の源泉データについてどのように得て、取り扱っているかなど（内部の機微情報にもなるので、あまりオープンにはできないことも多い気がしますが）